南郷小学校

Thanks Mail

(株)エルドール 札幌本店　様

今回のでっち奉公では、いろいろなことを教えていただき、ありがとうございました。仕事中はずっと立ちっぱなしなので、毎日だったらすごく大変だなぁと思い、仕事の大変さが少し分かりました。始めにしっかり手を洗うことや、おいしいケーキをつくるためには努力が大切だということを学びました。1日だけでしたが、とっても充実した時間を過ごせました。本当にありがとうございました。　5年　A.M

(株)エルドール 札幌本店

ケーキ大好き！いつか こんなお店を開きたい！

店内にはいつも40種類以上のケーキや焼き菓子、手作り・無添加の焼きたてパンなどが並ぶ「エルドール」。ここで仕事を体験したのは、スイーツが大好きで、家でも作っているという女子児童５人です。

お店の奥の広くてきれいな工房で３つのグループに分かれて、ケーキ職人のお姉さんたちから作り方を教えてもらいました。

まず最初は、“モンブラン”づくりのグループ。マロンクリームをマロンペーストで包み込み、最後にチョコでつくった栗を飾って出来上がり。「なかなかうまくマロンペーストで包めませんでした。なんか変な形になっちゃって。やっとうまくできた時は飛び上がりたいぐらいうれしかった。」と、笑顔が広がります。

“サブレ”に挑戦したグループは、「大きな生地から型で抜くのが楽しかった。失敗も少なかったし。焼き上がりを待つ間は、どんな風に焼き上がるのかわくわくしました。」と、こちらも満足そう。

お店の名物“くろくまクン”“しろくまチャン”づくりのグループも、「丸く型抜きをしたスポンジ台にバタークリームを塗って重ねていくのが難しくて。でも、作っている途中で食べたくなるぐらいおいしそうにできました。楽しかった。」と大感激。

職人さんの技術に感動した５人は、「いつかケーキ屋さんを開きたい。」という夢がどんどんふくらんできたようです。

(株)ラルズ スーパーアークス 菊水店

お客さまの喜ぶ顔を見て 疲れが吹き飛びました！

スーパーマーケットを核に、本屋やめがね屋、靴屋、ドラッグストアなどさまざまなテナントも軒を連ねる巨大商業施設。その中心「スーパーアークス菊水店」で仕事を体験したのは、スーパーのことをもっと知りたいという３人の男子児童です。

説明を受けてから、売り場へ向かいます。なにしろとっても広いお店なので、お客さまの人数も、置かれている商品の数も半端ではありません。みんな、お客さまのじゃまにならないように気をつけながら、店内を駆けずり回って作業にあたります。

「賞味期限のチェックをしました。同じ商品が山のように陳列されているので、一つ一つ日付を間違えないように確認するのが大変でした。」「商品整理では、同じ場所にそろえるのも大変。どこに置けばよいか分からなくなることもあって困りました。」「すぐ売れてしまう人気商品の補充で、倉庫と売り場を走り回ってくたくたです。」と、それぞれ、仕事の大変さを体験したようです。

でも、「お客さまに売り場を聞かれて、きちんと教えることができました。ありがとう、と言われた時は本当にうれしかった。疲れが吹き飛びました。」と、貴重な体験もできた一日。みんな「つらいことやきついこともありましたが、また体験したい。」と、仕事の大変さも楽しさも分かった様子です。きっと、この体験で得たことを、学校でも生かしていけることでしょう。

札幌市青少年科学館

科学以外の勉強も 大切だとわかりました

“見て、触れて、考える”をテーマに、体験しながら科学を学べる「札幌市青少年科学館」。毎日、実験や工作など楽しい催しが行なわれています。

この科学館にやってきたのは、何度も来ているという男女３人ずつの児童です。みんな「ここで仕事を体験できるのがうれしい。」と目を輝かせています。

「いつもとは違う気持ちです。今日は名札をつけた職員ですから。」と、早くも仕事モードに突入の６人。

最初に、職員の方に館内を案内してもらいます。「普段気にも留めなかったけど、見せて伝えるためにいろいろ考えられているんだ。」「受付や案内の方以外にも、大勢の職員の方が裏で支えているんだ。」と、驚きや発見の連続です。

ひととおり見終わったら、事務室に戻ってイベントのポスターづくり。みんなでアイディアを出し合って、楽しいポスターを作ろうと一生懸命です。「お客さまに、楽しさが伝わるようにするのに苦労しました。」「科学館で働くには、科学だけじゃなく、図工や他の勉強も必要なんだとわかりました。これからは、他の勉強もちゃんとしなくっちゃ。」など、みんな科学館で働きたいという気持ちでいっぱいになったようでした。最後にみんなで作成した記念メダルを手に、科学館を後にした６人。きっと学校へ戻ったら一回り成長していることでしょう。

白石中学校

Thanks Mail

アサヒビール（株）北海道工場　様

お忙しい中、私たちのために貴重なお時間を割いて職場体験をさせていただき、本当にありがとうございました。製造業の難しさや楽しさを知ることができてうれしかったです。皆さまの何事にも真剣に取り組むところや、礼儀正しいところ、環境への気遣いを見習って、テキパキと行動できるよう努力していきたいと思いました。　2年　K.I

北門信用金庫 白石支店

学校だけでは学べないことをいっぱい勉強しました

空知や石狩などで地域の金融を支える「北門信用金庫」。地域の中小企業や個人のための金融機関として、文化、環境、教育にも力を入れ、地域社会を活性化していきたいとさまざまな活動をしています。この職場に、働くことの大切さを知りたいという、男子生徒２人と女子生徒３人が訪れました。

最初に、金融について分かりやすくまとめた資料を渡され、職員の方から説明を受けました。初めて耳にする内容に最初は表情が硬かった生徒たちも、「金融って難しいと思っていましたが、やさしく丁寧に説明してもらい、よくわかりました。」と、職員の方への質問が飛び交うまでになりました。

その後、発声練習を中心に、最も大切な接客について学んだ後、実際にロビーへ。「お客さまに声をかけるのには勇気がいりましたが、笑顔で応えていただいて感激しました。」と接客のやりがいを経験した後、紙幣の枚数を数える札勘定にも挑戦。「上手になるには１年はかかると聞き、勉強も継続すれば自分の力になると思いました。」と、とても参考になった様子。業務に使ういろいろな機械の見学の後、実際に金庫にも入れていただきました。今までに見たこともない大量の紙幣を前に、うれしさと緊張が入り交じったシーンも。「学校では習えないことをたくさん経験し、働くことの大切さやお金の大切さ、使い方もしっかり学べました。」と言う生徒たち。学校で、みんなに教えたいと意気込んでいました。

アサヒビール（株）北海道工場

礼儀正しさや、何事にも真剣に取り組む姿勢を見習います！

札幌市内にある唯一のビール工場である「アサヒビール」の北海道工場。ここを訪れたのは、製造業で大切なことは何かを知りたいという男子３人、女子２人の生徒たちです。

会社の説明を聞いてから、工場見学へ向かいます。通常の工場見学では見られない所にも特別に入れてもらい感激した生徒たち。その後は、いよいよ男子と女子に分かれて体験開始です。

男子は、頭髪をカバーするネットと工場専用のヘルメットをかぶって工場へ。「ビール缶の状態検査を体験しました。皆さんの正確でスピーディな動きに感心しました。」と職人さんの技術と仕事に対する真摯な姿勢に圧倒された男子生徒たち。

一方、女子は工場見学案内スタッフの制服に着替えて、接客時のあいさつの仕方や用語、表情などを勉強。売店でのラッピングやお客さまへのパンフレット配りも体験して、「企業の顔としての自覚を持つことや、お客さまに喜んでいただく努力が大切だと知りました。」と興奮ぎみです。

「工場の環境の素晴らしさやビールづくりへのこだわりが印象に残りました。」「工場の廃油をせっけんに、麦のカスを家畜のえさに、ペットボトルを制服に再利用していると知り、環境にやさしい企業だとわかりました。」「職場の方の、礼儀正しさや、何事にも真剣に取り組む姿勢に感激。私たちも見習います。」と感想を話す生徒たち。きっと大切な何かを見つけたのでしょう。

（株）ヤマハミュージック北海道 札幌店

働くことの楽しさ、大変さ、やりがい大切なことを学びました

楽器や楽譜、音楽CDやDVDの販売、楽器修理やピアノ調律のほか、音楽教室などを展開する「ヤマハミュージック北海道 札幌店」。音楽のトータルアドバイザーとして知られるこのお店に向かったのは、男子１人、女子５人の生徒たちです。

ショップの一日は朝礼から始まります。「前日の報告がしっかりしていて感心しました。」「“いらっしゃいませ”、“ありがとうございました”など、あいさつの練習の声がそろっていて、すごかった。」と出だしから驚きの連続。やっていけるだろうか、とちょっぴり不安になった気持ちを落ち着かせて、店内の清掃にかかります。大きな窓ガラスや展示しているピアノなどの商品を、手分けして丁寧に磨いていく中で、「清掃は地味だけど、お客さまに気持ちよく商品を見ていただくための大切な作業なんだ、と気付きました。」「ピアノの清掃では、ピカピカにするのに大苦戦しました。でも、苦しんだ分、手入れし終えた時の達成感が大きかったです。」など、いろいろ得るものがあったようです。

清掃の後、棚の整理やクリスマスイベント準備の手伝いなどを体験した生徒たちは、「店員の方のさわやかで楽しそうな接客がすばらしいと思いました。」「今まで働くのはつらいことだと思っていたけど、この体験で180度変わりました。」などと口々に感想を述べてくれました。

日章中学校

Thanks Mail

（株）白石ゴム製作所　様

お忙しいお仕事の中、貴重なお時間を割いていただき、本当にありがとうございました。この体験を通して、こんなに身近に、人の役に立つアイディアを考え、それを実現する仕事があることを知りました。作業がどんなにつらくても、丁寧にご説明くださった皆さまの輝く目を見て、夢を実現していく仕事はきっと楽しいんだと思いました。私も夢に向かって努力していこうと思います。　　1年　K.O

（株）白石ゴム製作所

未来を見据えたモノづくりを通じて仕事の大変さと楽しさの両方を体験

ゴム関連製品の製造や加工と、新製品の試作などを得意とする「白石ゴム製作所」。大学や研究所、企業との連携で開発された商品も数々、という魅力あふれる工場を訪れたのは、５人の男子生徒です。

まずは朝礼に参加し、ラジオ体操でウォーミングアップ。工場の説明や見学の後、いよいよ他の企業と共同で開発した自走式農薬散布ラジコンボートの製作現場へ向かいます。これは同社の代表商品の一つで、すでに120台が全国で活躍しているそうです。「水田に必要な除草剤を、ラジコンで走らせた船から水中に散布しようというアイディアと、それを実現したことはすごいと思いました。」と生徒たち。農作業をしている人はもちろん、田んぼのまわりの住民の方への除草剤の影響も減らせるし、時間や労力も削減できるという、人と環境にやさしいモノづくり。「北海道から、こんなアイディアの商品が生み出されていることを知ってびっくりしました。」と、みんな真剣なまなざしで作業に見入っていました。

午後からは、実際にお客さまの注文に合わせたゴムパッキンの製作を体験。「仕事はとても細かくて大変だけど、その目的を知るとやりがいを感じ、楽しく仕事をすることができました。」と目からうろこの生徒たち。

「ここで学んだアイディアを実現していくということや、仕事を楽しむということを、学校生活で生かしていきたい。」と、５人は意気込んでいました。

北の星東札幌保育園

失敗を恐れず積極的に子供たち一人一人と向き合って！

子ども一人一人の個性を見極め、発達の段階に応じた丁寧な保育を実践する「北の星東札幌保育園」。ここを訪れたのは、男子４人、女子２人の生徒たち。どんな子どもたちに会えるのか、ワクワクドキドキしています。

最初に園児たちの前に立った時は、みんな戸惑いの表情を浮かべていましたが、可愛らしい園児たちの顔を見るうちに自然と笑顔になっていきます。興味津々、話しかけたそうなそぶりの園児たちに、しゃがみ込んで同じ目線になって話しかけてみると、園児たちもすっと近づいてきて「あっという間に仲良くなれて、すごく嬉しかった。」と女子生徒。

一生懸命話してくれるけど、何を言っているのかわからない女の子。突然泣き出すちょっとシャイな男の子。そんな園児たちに、どう接すればいいのか分からずにいた生徒たちとは違って、すぐに駆け寄り、コミュニケーションをとる先生方。そんな先生方から「子どもが『うん』や『ちがう』で答えられる質問をして、キモチを引き出すことが大切なんだと教えられました。」と生徒たち。

コミュニケーションをとることの難しさを感じていた生徒たちも、先生から「失敗も勉強のうち。」と言われて、次第に積極的になっていきました。「よい経験をさせてもらい感謝しています。この体験を日常生活にも生かしていきたい。」と、みんな目を輝かせていました。

（財）札幌市公園緑化協会 川下公園

雨の日も暑い日も重労働本当に頭が下がります

世界のライラック200品種、約1,700本を植えた森やバーベキューのできるピクニック広場、テニス場や野球場、温水プールなどを備えた白石区初の総合公園「川下公園」。ここで管理の仕事を体験するのは、男子生徒20人です。

当初は落ち葉拾いをする予定でしたが、あいにくの雨で予定を変更し、枯れたり病気にかかったりした木を切る作業をすることになりました。

腰を下ろして、ノコギリを力いっぱいひいて、根元から木を切る作業の連続です。生木の切りづらさも加わって、あちこちから「腰が痛い。」と悲鳴が上がります。なんとか作業を終えた後、切った木を決められた場所に運んだり、公園内のパトロールを体験して作業を終了しました。

「職員の方たちは、雨が降ってもどんなに暑い日でも、こんな重労働を毎日やって、公園を守っていることを知りました。」と仕事への責任と作業の大変さを痛感したようです。「たった１日だけだったのに、もうくたくた。家に帰ったら、すぐ寝たい。」と口をそろえて話す生徒たち。「とてもよい体験をさせていただきました。職員の方の思いや公園を利用される方たちへの願い。そんな話を聞いているうちに、公園には、さまざまな人の思いが詰まっていることに気付きました。これからは、公園に行ったらちゃんとルールを守ろうと思いました。」とつらかったけど、とても有意義な体験をした20人でした。

北都中学校

Thanks Mail

ホテルアセントイン札幌　様

職業体験のために貴重なお時間をいただき、親切、丁寧なご指導をありがとうございました。体力と繊細な気遣いが求められるベッドメイキングや清掃作業を体験させていただきましたが、限られた時間の中で、どんなときもお客さまを第一に考えて行動する皆さまの仕事に対する姿勢は、私にとってとてもよい刺激になりました。貴重な体験をさせていただき、心から感謝しています。　　2年　K.K

ホテル アセントイン札幌

プロの人たちの仕事の早さと正確さに感動しました！

札幌コンベンションセンターや札幌市産業振興センターが徒歩圏内という、東札幌にある77室のビジネスホテル「ホテル アセントイン札幌」。ここで、旅の疲れを癒やす快適な部屋を提供するための仕事を体験したのは、ホテルマンにあこがれる男子生徒４人と女子生徒２人です。

まず、清掃作業に必要なホテル独特の用語や清掃の方法などの説明を受けてから体験開始です。「この部屋はINだからお客さまが来る前に清掃しなきゃ。」とか「Rは連泊だから、清掃方法が違うんだよね。」など、覚えたての用語を使いながら、作業に取りかかりました。

お風呂掃除を終えた女子生徒は「風呂場は、洗った後に必ずから拭きをするなど、ホテルでは、常にお客さまの快適さを第一に考えることが大切だと知りました。」と、身をもってサービスの心を感じた様子です。

清掃の後は、ベッドメイキング。この作業で一番大変なのは、シーツの交換です。数人がかりで大きなシーツを広げますが、なかなか思うようにきれいに決まりません。悪戦苦闘の末、やっとOKをもらった生徒たちは「しわができないように敷くのが難しかった。」と、ぐったりした様子。

「限られた時間の中で、てきぱきと作業するプロの人たちの仕事に対する姿勢に感動しました。」と語る生徒たち。この経験を学校や家庭での生活に生かせるようがんばろうと誓い合っていました。

医療法人菊郷会 札幌センチュリー病院

専門分野の人たちが協力して命を守る医療現場に感銘！

人工透析センターをはじめさまざまな施設を備える「札幌センチュリー病院」を訪れた８人の女子生徒は、「人の命を預かる現場の最前線を体験したい。」「患者さんと触れあって現場の空気を感じたい。」との意気込みで臨みました。

最初に“患者さまにお仕えする気持ちを大切に”という病院の理念を聞いた後、手術衣に着替え、緊張して手術室へ向かいます。ここでは、病院と患者さんのご了解のもと、実際に内視鏡を使って行う手術を見学しました。「患部の画像を見せてもらいましたが、先生のてきぱきした手術と、看護師さんたちのみごとな連携に感銘を受けました。」と、初めて見学した手術に表情がひきしまる生徒たち。

リハビリテーション科では、病院が実践しているチーム医療の大切さを教えてもらった後、実際にリハビリのお手伝いを体験。「リハビリ後の患者さんの様子を見て、リハビリの必要性がよく分かりました。さまざまな分野の専門家が協力し合うことが大切なんですね。」「今日学んだことは、学校生活でも必要なことだと思います。学校へ戻ったらすぐ実践します。」と、みんな目を輝かせています。

最後は薬局で、皮膚の乾燥止めに使われるクリーム状の薬を小分けする作業です。今日の体験への感謝の気持ちを込めて、真剣に取り組みました。

（株）ホクトスポーツ

好きだからこそできる対応がお客さまの心をつかむ！

少年野球用品をはじめアルペンスノーボードなどの商品も充実し、スキー場でスノーボードスクールも開催する「ホクトスポーツ」。そんなスポーツショップを体験したのは、野球好きの男子生徒４人とスポーツ好きな女子生徒２人です。

最初の体験は、野球少年必見のグローブ修理です。破れたグローブを丁寧に補修し、ほつれた糸を縫い直し、使い込まれたグローブが新品同様の輝きを取り戻していく姿を食い入るように見つめる男子生徒たち。「グローブは、ずっと使い続けて体の一部にしたい。毎日手入れしていますが、何かあったら…。この店を知って心強いです。」と言うその瞳は、ささいなことまで見逃すまいと真剣そのもの。

グローブの修理が終わると、次は、テニスラケットのガット張りに挑戦しました。「ガットの張り替えは、普段、すべてお店まかせでやってたけど、今度張り替える時はここに相談しようと思いました。」と女子生徒。みんなそれぞれに、「競技や用具を愛しているスタッフがお店にいるということが、大きな信頼につながるんですね。」とうなずきあっていました。

その後、パソコンで、すぐにお客さまの希望する形と色の組み合わせが見られるオリジナルジャージづくりを体験。「用具やファッションにも、お客さまの希望をかなえたいというお店の姿勢に感激。」と、相手の気持ちになって考えることの大切さを学んだ６人でした。